

## 続いて、第5の柱

『人と自然が共生した、自然・生活環境づくり』について申し上げます。

まず、ごみ処理対策につきましては、循環型社会の構築を目指して、いっそう啓発活動に取り組み、市民一人ひとりのごみの減量化や、リサイクルを推進してまいります。

新可燃ごみ共同処理施設建設事業につきましては、先般、処理施設の施工業者が決定されたところであり、2022年度の供用開始に向け、事業主体となる邑智郡総合事務組合と十分に協議を重ねながら、着実に事業を進めてまいります。

また、共同処理にあたり、新施設への搬入を効率的に行うため、可燃ごみ中間処理施設の改修工事に着手してまいります。

し尿処理施設につきましては、稼働後23年が経過し老朽化が進んでおりますので、新年度は、基幹的設備の改修に向け「長寿命化総合計画」を策定してまいります。

水道事業につきましては、引き続き、効率的な経営に努めるとともに、安全・安心な水道水の安定的な供給並びに、老朽管の更新・耐震化を計画的に行ってまいります。

また、持続可能な水道事業としていくため、次期「大田市水道ビジョン」を策定してまいります。